学校番号	319

令和８年度　理科

教科	理科	科目	理科基礎演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「化学基礎」　（数研出版） 「生物基礎」　（数研出版）						
副教材等	問題タイプ別　大学入学共通テスト対策問題集　化学基礎（実教出版） 共通テスト対策実力完成直前演習　化学基礎（Learn-S） 生物基礎　単元別問題集　大学入学共通テスト（駿台文庫） 2027　共通テスト実践問題パックⅤ　生物基礎（駿台文庫）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では入試問題を用い、自ら考え、考えを発表し、その解答へのプロセスを共有します。
・前期は化学基礎、生物基礎の全範囲を一単元ずつ復習し、知識や解答方法などを改めて身につけましょう。
・各自が自らの力で解答に辿りつく力を養うため、すぐに解答を見ることなく、自力で解答へのアプローチを見つける力を身につけましょう。
・後期からは実践演習や模擬問題などで共通テスト本番と同じ形式の問題を利用し、思考力を養います。

2　学習の到達目標

1･2年次に学習した理科の基礎科目について、主に生物･化学分野を中心に問題演習等を通して、様々な自然現象や科学と人間生活との関わりを深く学習し、社会に貢献できる力を養う。
・日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象及び物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
・問題演習等を通して、身に付けた知識･技能を基に思考を積み重ねることで科学的に探究する力を養う。
・生物や生物現象及び物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・自然の事物･現象について、基本的な概念や原理･法則を理解し、化学および生物に関する知識を総合的に身に付けている。	・化学および生物の各分野について、自然の事物･現象の中に課題を見いだし、解決を目指して思考を深め、科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	・化学および生物の各分野について、科学的知識を用いて事象を表現する良さを認識し、自己の問題解決の過程を振り返って考察を深め、積極的に評価･改善したりしようとしている。また、協同的な活動の中で、他者の考えをもとに自己の理解を変容させて深い理解やよりよい表現に努めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	化学基礎	・物質の構成 ・物質の構成粒子 ・粒子の結合 ・物質量と化学反応式 ・酸と塩基の反応 ・酸化還元反応	a:各学習内容に関する必要な知識を身につけ、活用することができる。データを比較・分析することにより、結論を導き出すことができる。 b:身につけた知識を活用しながら問題演習に取り組むことができる。 c:自分の現状を振り返り、できていないこと習得しようと取り組むことができる。	確認テスト 考査	確認テスト 考査	確認テスト ワークシート 振り返りシート 観察
	生物基礎	・生物の特徴 ・遺伝子とその働き ・ヒトのからだの調節 ・植生と遷移 ・生態系とその保全				
後期	実践問題	・化学基礎全範囲 ・生物基礎全範囲	a:各問題について関連する知識を用いて問題を解くことができる。 b:与えられた情報を整理して正答を導く道筋を考えることができる。 c:解いた問題を振り返り、自分の力で問題を解けるようになるために必要な学習を考えることができる。	提出プリント 考査	演習プリント 考査	ワークシート 振り返りシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度